

精神科卒後臨床研修プログラム

I. 研修プログラムの目的及び特徴

千葉県精神科医療センターにて実習する。このプログラムは厚生労働省の研修要項を参考にして、千葉県精神科医療センターが作製したのものである。精神医学の臨床に必要な基礎知識と技能を習得し、将来精神科を標榜しない場合においても、全人的医療に求められる精神医学の素養を学ぶことが出来る。研修は入院患者の診療を通して、指導医の下、診断、治療、処置について指導を受ける。さらに回診、症例カンファレンス、ミーティングなどを通して研修する。

II. 研修プログラム責任者

プログラム総括責任者：平田 豊明(千葉県精神科医療センター長)

III. 研修指導医

研修指導医：森山稔弘

IV. 研修プログラムの管理運営

研修指導医および千葉県済生会習志野病院の研修管理責任者が行う。

V. 募集定員 2名

VI. 教育課程

1. 一般目標

精神科救急で遭遇する精神症状の緊急性を評価し、適切な診察、検査を施行して主な疾患の診断と初期治療計画をたてる技能を修得する。

2. 行動目標

- 1) 精神疾患の心理社会的背景に配慮した病歴を聴取することができる。
- 2) 精神医学的診察所見をまとめて、簡潔にプレゼンテーションすることができる。
- 3) 千葉県の精神科救急システムについて理解し、適切に利用できる。
- 4) 統合失調症「精神分裂病」の診断と治療計画を立てることが出来る。
- 5) うつ病の診断と治療計画をたてることできる。
- 6) 痴呆の診断と治療計画をたてることできる。
- 7) 身体表現性障害、ストレス関連障害の診断と治療計画をたてることできる。

- 8) 主な睡眠薬の特性を理解して、病状にふさわしい処方ができる。
- 9) 自殺企図の衝動性、切迫度、再企図の危険を正しく評価することができる。
- 10) 興奮する患者を安全に鎮静することができる。
- 11) 急性精神病状態の患者を安全に搬送することができる。
- 12) m-ECT の適応を理解し、その効果を評価することができる。
- 13) 退院前後における外来保健師、ソーシャルワーカーによる患者の自宅訪問に同行し、地域における生活の問題点を評価できる。

VII. 週間スケジュール

	午前	午後
月	病棟	救急外来
火	病棟	回診、講義、ケースカンファ
水	病棟	救急外来
木	病棟	救急外来
金	病棟	救急外来
土	病棟	救急外来
日	救急外来	救急外来
当直	1-2回/週	

VIII. 評価方法

研修指導による口頭試問およびレポートの提出で行う